

特定非営利活動法人 PI-Forum (ピーアイ・フォーラム)
事業提案書 (特定非営利事業) No.1

1. 事業名称

「PI-Forum 誌発行事業」

2. 事業の目的及び事業計画上の位置づけ

PI-Forum 誌の発行により、学術分野や立場を問わず、ミクロからマクロまで、PI-Forum の定義する3つのPI (public incubation, public initiatives, and public involvement) に関心のある研究者、実務家の理論、言説、仮説などを、テーマを定めた上で収集し、定期的に共有する。

PI-Forum ではこれまで、研究者および実務家による自発的な情報交換を支援するため、ポータルサイトの構築と無償サービス提供を行ってきた。PI-Forum 誌の発行は、PI-Forum が能動的に情報を収集、拡散することにより、さらなる分野横断的情報共有を推進するものである。

昨年度は諸般の事情により発行できなかったが、本年度は第4号の発行を目指して、原稿公募、編集を行う。

3. 事業概要

1) 概要

A. 招待原稿

編集委員が協議の上、毎号5編程度、研究論文あるいは書評の執筆を外部の専門家に依頼する。執筆者の選定に当たっては分野および研究方法論の多様性について特に配慮する。

B. 公募原稿

研究論文および事例情報については公募を行う。公募の方法は以下の通り。

発行4ヶ月前：公募情報の告知 (PI-Forum メルマガ等)

発行2.5ヶ月前：応募締切 (原稿タイトル、発表者名 (連名者名)、梗概)

(* 応募多数の場合は採否を編集委員により協議)

発行1ヶ月前：原稿締切

2) 成果物

A. 研究論文

3つのPIに関連する論文 (A4版4~8ページ程度、2段組) を収録。著作権上の問題が存在しない限りにおいて既存論文の要約も可。特に若手研究者からの積極的な投稿を期待する。

B. 事例情報

PI事例に関する簡潔な実施報告、調査報告 (A4版1~2ページ、2段組) を収録。行政及びコンサルタントの現場担当者からの投稿を期待する。

C. 書評

(必要に応じ) 専門家による関連書籍の書評 (A4版1ページ、2段組) を掲載する。

D. イベント情報

3つのPIに関連する行事予定について各方面より情報を求め掲載する。またPI-Forum主催イベントの実施報告、また他機関主催のイベントへの参加報告についても適宜掲載する。

3) スケジュール

第4号のテーマについては現状のところ未定。

4. 実施体制

1) プロジェクトリーダー :

松浦 正浩 (編集主幹)

2) プロジェクトチーム :

(昨年度までご協力いただいていた方々に再依頼の予定)

5. 予算計画

第4号

事業収入 : 計 115,000 円

広告収入 (広告価格改定)

1 / 4面 (@25,000 円) × 3件 = 75,000 円、1 / 2面 (@40,000 円) × 1件 = 40,000 円、

全面 (@80,000 円) × 0件 = 0 円

事業支出 : 計 90,300 円

(1) 印刷

印刷・製本 (200部) (@62,000 円) × 1号 = 62,000 円

(2) 配布

送料 (@160 円) × 100部 × 1号 = 16,000 円

収支差額 : 24,700 円

6. 参考資料

特になし

7. その他考慮事項

特になし

以上

特定非営利活動法人 PI-Forum (ピーアイ・フォーラム)
事業提案書 (特定非営利事業) No.2

1. 事業名称

「PI-Forum 年次セミナー 2009」

2. 事業の目的及び事業計画上の位置づけ

本事業は、合意形成の知識・実践に関心を持つ各界・各層の方々に開かれた共創の場として、2004年度から5カ年に渡って開催してきたPI-Forumの最大規模の成果発表会である。

我々が蓄積してきた様々な知識や情報を広く伝えることで、PI-Forumの活動を広く知らしめると共に、PIや合意形成への関心を高め、人的ネットワークを拡大することを目的としている。

6年目を迎える今回は、四国WSとして四国内で実施してきた土木学会とのジョイント企画とし、収益の確保とセミナー内容の充実に取り組む。

3. 事業概要

1) 概要

1月に1日程度、PIや合意形成運営技術者に係るテーマで、発表、パネルディスカッション、ワークショップ等を行なう。具体的なテーマは、今後編成するプロジェクトチームにて検討する。

会場は、高知県を予定。参加費は、一般5千円(会員4千円)、学生3千円程度を予定している。

2) 成果物

- ・イベント報告書

4. スケジュール

- ・ 8～9月：プロジェクトチームの編成。日程及び会場の確定。協賛企業への依頼。
- ・ 9～10月：事前告知活動開始。
- ・ 11月：イベント直前準備、参加受付開始
- ・ 1月：イベント開催
- ・ 1～3月：成果概要のとりまとめ メルマガ発行
- ・ 3月～4月：最終報告書とりまとめ 開催報告 HP 掲載
- ・ 4月～6月：協賛各社に報告、御礼

5. 運営体制

1) 主催：PI-Forum

2) 協賛：民間企業数社、他

3) 実施体制

プロジェクトリーダー：山中

プロジェクトチーム：今後、新たに編成

個別事業の実施責任者：テーマに応じて依頼

事務局：

- ・ 会場予約、申込み受付、備品等：プロジェクト事務局
- ・ 広報：理事全員
- ・ 会計：小松

報告書作成：

- ・ レポート作成：各事業の責任者
- ・ とりまとめ：篠田
- ・ 編集：プロジェクト事務局

ファンドレイジング：山中、菊池、小松、理事全員

トヨタ以外の協賛企業の要請を予定

6. 予算計画（ 昨年度と同様の規模を想定）

（単位：千円）

収入		支出	
企業協賛	200		
学会事業費	200	会場費	50
参加費等	280	消耗品費 + 通信費	10
		講師等謝金	200
		旅費	50
		資料作成費	10
		印刷製本費	20
		事務局経費	125
		アルバイト	40
		飲食費（ペットボトル等）	10
		交流会	10
		小計	525
		共通経費	$500 \times 0.25 = 125$
		小計	650
		予備費	30
合計	680	合計	680

参加者 60 名、うち 3 分の 1 が会員と想定

会場において、会員募集、PI-Forum 誌等の販売などを積極的に行う。

7. 参考資料

平成 16～20 年度事業計画書及び事業報告書

8. その他考慮事項

10 月段階での企業協賛の可否・規模により、内容の見直しを含めて決定していく。

以上

特定非営利活動法人 PI-Forum (ピーアイ・フォーラム)
事業提案書 (特定非営利事業) No.3

1. 事業名称

「異分野 PI 交流ワークショップ (将来展望編)」

2. 事業の目的及び事業計画上の位置づけ

これまで異分野交流 WS が開催されてきているが、今年度は「合意形成推進ロードマップ()」や「合意形成推進シナリオ()」といった長期ビジョンを今後検討することを念頭に置きつつ、さまざまな分野で「合意形成」に対するニーズへとつながりそうな動きとしてどのようなものがあるのかを把握するとともに、異分野間のコラボレーション促進を目的に WS を実施する。

(合意形成を推進する上で、法制度の改正や五箇年計画の策定など重要な動きを見据えた上で、どのような分野でどのような人々に、マーケティングやロビイング等の圧力を戦略的にかけていけばよさそうかを示す見取り図)

(シナリオ・プランニング技法により、超長期の視点から、わが国の「合意形成」がどのような姿になるかについて複数提示される将来像)

3. 事業概要

1) 概 要

WS を 3 回実施。

2) 成果物

WS による議論。報告書は作成しない。A4 で 1 ページ程度の要約を作成。

3) スケジュール (案)

具体的なスケジュールについては個々のプレゼンターとの調整で決定する。

テーマとしては以下のものを考えている。

- ・地球温暖化
- ・ジェロントロジー
- ・障害者福祉

広報はポスター等を利用。広報についてはプロジェクトリーダーが責任を負う。

4. 実施体制

1) プロジェクトリーダー：松浦

2) プロジェクトチーム：城山、水谷、八木、小松

5. 予算計画

事業支出：計 210,000 円

(1) 会場費

16,000 円 / 回 × 3 回 = 48,000 円 (参考：東大山上会館 4,500 円 / 回)

(2) 謝金・交通費等(プレゼンターのみ)

12,000 円 / 人 × 2 人 × 3 回 = 72,000 円

(3) 事務補助員人件費

1,500 円 / 時 × 20 時間 × 3 回 = 90,000 円

事業収入：計 210,000 円

(1) 参加費

2,000 円 / 人 × 10 / 回 × 3 回 = 60,000 円 (会員)

2,500 円 / 人 × 20 / 回 × 3 回 = 150,000 円 (非会員)

収支差額：0 円

6. 参考資料

特になし

7. その他考慮事項

特になし

以上

特定非営利活動法人 PI-Forum (ピーアイ・フォーラム)
事業提案書 (特定非営利事業) No.4

1. 事業名称

「PI-Forum 連続セミナー2009」

2. 提案趣旨

- ・ PI-Forum が主催者となって、PI に関する各種のセミナーを6回連続のパッケージとして定期的に開催するものである。

3. 事業の目的

- ・ PI-Forum としての定期的な活動を実施し、外部への情報発信を活発化させる。
- ・ PI に関する各種のセミナーを連続して行うことにより、関心を持つ人々に対してPIに関する基本的な内容を知ってもらう場を提供する。
- ・ 公的機関、公益企業などPIに対するニーズが高いと思われる法人に参加を呼びかけることを通じて、PI-Forum の活動をPRするとともに、協賛会員となっていただくきっかけとする。

4. 事業概要

1) 概要

- ・ 開催頻度・・・1回2時間(18:30-20:30)×6回、2回/月×2地域程度
(8～10月、11～1月)
講師や参加者の希望により、1回4時間とすることも検討する。
- ・ 6回を一括にしたプログラムとして企画し募集する。(以下は、仮案)
 1. コミュニケーション : 聴く技術
《演習》3つの利害関心・1対1のコミュニケーション
 2. コミュニケーション : ファシリテーション
《演習》(ファシリテーターとしての)集会の場でのコミュニケーション
 3. メディエーション : メディエーションとは
《参加型》グループ討議 裁判と調停
 4. メディエーション : メディエーションの技法
《参加型》メディエーションロールプレイ
 5. 交渉学 : 立場と利害、単一 이슈ーと複数 이슈ー
《演習》Win as Much as Possible 演習・複数 이슈ー演習
 6. 交渉学 : マルチステークホルダー交渉
《演習》マルチステークホルダー演習

2) 成果物

「連続セミナー(仮称)」実施報告書

(セミナー概要、風景、受講者の評価等をまとめたレポートを想定(営業資料として活用))

3) スケジュール

・6~7月の間に、関連法人、PI-ForumメーリングリストなどでPR

5. 役割分担(案)

- ・事業担当・・・小松
- ・セミナー講師・・・入江、松浦、篠田
- ・事務局・・・・・・・・小松
- ・PR活動・・・・・・・・小松、菊池、篠田、入江、松浦、八木、全理事

6. 予算計画

1) 収入

- ・受講料・・・1,800,000円(会員:60,000円×6名、非会員:90,000円×6名)×2地域
- ・6回一括として、1名あたり、会員の場合は60,000円、非会員の場合は90,000円とする。

2) 支出

- ・会場費 ￥180,000 (15,000/回×6×2地域)
- ・講師謝金 ￥360,000 (30,000/回×6×2地域)
- ・交通費 ￥180,000 (30,000/回×6回×1地域)
- ・資料準備 ￥36,000 (3,000/回×6×2地域)
- ・事務局人件費 ￥240,000 (20,000/回×6×2地域)
- ・備品等 ￥60,000 (5,000/回×6×2地域)
- ・経費 ￥630,000 (900,000円×0.35×2地域)
- ・予備費 ￥114,000

合計 1,800,000円

7. その他

- ・昨年度、受講していただいた法人の方に、再度お誘いをする。
- ・講師謝金、事務局費等は、今年度の現場支援事業にて整理される内規に基づき変更することがある。

以上

特定非営利活動法人 PI-Forum (ピーアイ・フォーラム)

事業提案書 (特定非営利事業) No.5

1. 事業名称

「PI指針と倫理・評価に関する規定展開事業」

2. 事業の目的及び事業計画上の位置づけ

事業の目的は以下の2点である。

「PI指針」, 「PI評価項目」の広報に努める。

「参加プロセスの実務者倫理 (v 1.0)」については、現場での活用経験も踏まえて議論の機会を設定し、その結果をフィードバックする形で改訂を検討する。

3. 事業概要

1) 概要

A. HP等における広報の展開

B. 「参加プロセスの実務者倫理 (v 1.0)」の活用経験に関する議論の機会の設定

C. 「参加プロセスの実務者倫理 (v 1.0)」のバージョンアップ

2) 成果物

「参加プロセスの実務者倫理 (v 1.1)」

3) スケジュール

・ 7月以降: HP等による広報の展開

・ 未定: 「参加プロセスの実務者倫理 (v 1.0)」の活用経験に関する議論とバージョンアップ

4. 実施体制

1) プロジェクトリーダー

矢嶋、城山

2) プロジェクトチーム:

篠田

5. 予算計画

事業収入: 計 0 円

事業支出: 計 0 円

特定非営利活動法人 PI-Forum (ピーアイ・フォーラム)
事業提案書 (特定非営利事業) No.6

1. 事業名称

「現場支援事業の試行」

2. 事業目的

現場支援事業を円滑に実施するために、昨年度までの本事業の成果を踏まえた上で、現状での課題点を整理し、短期的に解決できる問題を解決し、長期的に解決すべき課題には解決方針を与える。

3. 事業概要

1) 概要

「現場支援事業の試行」として、「人件費等の支払い方法に関する内規(案)」、「契約までの流れ(案)」、「サービスメニュー(案)」等に沿って、「北海道での連続セミナー」を受注し、大きな問題はないことが確認された。

今年度も引き続き幾つかの業務を受注しながら、また更にこれまでの異分野PI交流ワークショップや年次セミナーの成果を活かした自主事業、他組織と連携した事業を企画・実施しながら、現状での課題点を整理し、短期的に解決できる問題を解決し、長期的に解決すべき課題には解決方針を与える。

具体的な継続事業および自主事業としては、下記の事業を予定している。

北海道連続セミナー (担当：松浦、篠田、入江)

昨年度受注した北海道連続セミナーを継続実施する。

PI-Forumによる中立的第三者としての現場支援体制の試行 (担当：山中)

PI-Forumが提案してきたPI指針・倫理にのっとり、具体的な現場支援事業(ファシリテータ派遣, 研修, 指導など)の条件整理を進めるとともに、合意形成について普及啓発する小規模セミナーの開催を実施する。

IT系講座 (担当：菊池)

企業や官公庁においてITシステムの導入の際に必要な合意形成において、PIフォーラムの提唱する「PI指針」「市民参加の評価項目」および「実務者倫理規定」などを応用することで、ITプロジェクトを成功に導くことができる。こうした異分野におけるPI、合意形成の応用の考え方や事例をPIフォーラムとして関係者にわかりやすく解説し、合意形成の重要性に関して啓発を図っていく。

2) 成果物

- ・ 現場支援事業の実施に係る短期的課題の解決
- ・ 現場支援事業の実施に係る長期期課題と解決方針の整理

3) スケジュール

7月末まで：法人の現状分析

8月末まで：現場支援担当者（田熊理事、山中理事、等）へのヒアリング

9月末まで：短期・長期での解決案の提案、可能なものは実施

3月末まで：現場支援担当者への支援実施後のヒアリング

翌年4月末（PI-Forum 年度末）までに状況の確認と報告書の作成

4. 実施体制

・プロジェクトリーダー：山中

・プロジェクトチーム：山中、菊池、松浦、入江、篠田、小松

現場支援事業ごとに、プロジェクトチームが構成される。

5. 予算計画

1) 収入

・北海道連続セミナー ￥450,000（150,000円×3回）

・PI-Forumによる中立的第三者としての現場支援体制の試行および小規模セミナー ￥0

・IT系講座 ￥150,000

合計 600,000円

2) 支出

・北海道連続セミナー ￥360,000（講師謝金等）

・PI-Forumによる中立的第三者としての現場支援体制の試行 ￥0

・IT系講座 ￥120,000（講師謝金、旅費、印刷費、事務局経費等）

合計 480,000円

特定非営利活動法人 PI-Forum (ピーアイ・フォーラム)
事業提案書 (特定非営利事業) No.8

1. 事業名称

「PIナレッジの体系化」

2. 事業の目的及び事業計画上の位置づけ

これまでに PI-Forum が実施してきた事業を中心にPIに関連するナレッジを体系化することにより、多様なPIに関連する方法論などの関連性を明らかにし、社会に対して提示する。また、これらを整理することにより、PI-Forum が提供できるセミナー等の企画に結びつけるなど、これまでに蓄積してきたナレッジの有効活用を図る。

3. 事業概要

1) 事業概要

平成20年度の成果である「PIナレッジ体系化(仮説)」をもとに、利用者の疑問点とそれに対する回答、これまでにPI-Forum が自主研究、共同研究、セミナー事業などで作成、利用してきたドキュメント、参考資料等を中心にPIに関連する方法論を整理する。これらの整理・分析の結果は、ホームページ等で提示する。

2) 成果物

- ア) PIナレッジ体系化フレームワーク(案)
- イ) 研究レポート

4. スケジュール

- 7月: プロジェクトチームの設置、実績の整理
- 9月: 関連資料の収集・分析
- 11月: 体系化フレームワーク(案)の検討
- 3月: とりまとめ

5. 運営体制

- 1) 事業担当理事: 石川
- 2) プロジェクトチーム: 有志を募りプロジェクトチームを編成
- 3) 資料提供等の協力: 各理事及び関係者に依頼
- 4) その他: 東京大学大学院情報学環との共同研究とする。他の機関との連携も検討する。

6. 予算計画

- 1) 収入: 0円
- 2) 支出: 0円(東京大学との共同研究)

以上